



【出典：鈴木構成員説明資料(第4回)等】

国内における取組事例に関するヒアリング

● 国内におけるビッグデータの活用に関する取組事例、課題や今後の方向性等について、自動車メーカー、損害保険会社、気象情報サービス事業者、電気通信事業者及びICTサービス事業者等の関係事業者10グループ(11者)よりヒアリングを実施。【ヒアリングの概要については、別添参照】

<p>自動車の走行データの道路行政や災害対応への活用等について</p>	<p>トラフィック情報を基にした通信品質改善や海外における災害対応への活用等について</p>	<p>携帯電話のGPSデータの保険サービスへの活用等について</p>	<p>気象観測データや会員からのコメントデータの天気予報や災害対応への活用等について</p>	<p>秘密計算による臨床研究データや、携帯電話ネットワークの運用データ等のまちづくり等への活用等について</p>
<p>農地内センサからの温度データ等の栽培管理や、健康関連データの予防医療への活用等について</p>	<p>センサ等からの大量データの公共インフラ管理や環境監視への活用等について</p>	<p>リアルタイム性、大規模化及び深い分析に対応した処理基盤等による活用等について</p>	<p>M2Mシステムや、橋梁の多数のセンサによる歪等データの異常検知等への活用等について</p>	<p>ビッグデータの活用に関する対応課題、インフラ基盤の在り方等について</p>